

No.29-13	<b>漁況情報・浜の話題</b>	神奈川県水産技術センター
平成 29 年 10 月 17 日		企画資源部 046-882-2489 相模湾試験場 0465-23-8531

## ● 浜 の 話 題

- 9月21日、鎌倉漁協地先海面の一部で磯焼けが確認されているため、同漁協漁業研究会は理事会を開催し、磯焼け対策に取り組むことを決定しました。アラメやカジメの母藻を磯焼けが見られる海面に移植し、母藻から放出される遊走子（海藻の種のようなもの）から新芽が生え、藻場が回復することを目指します。
- 9月21日から22日、小田原市漁協青年部は、今年6月に小田原地先に設置した竹魚礁に蜻蛉集する魚の釣獲を21日に行い、翌22日に市場に出荷する試験を行いました。この取組みは、小田原市の助成を受けた鮮度保持対策研修事業で実施しました。今回はカワハギ、イサキ、サバ、ホウボウ、カイワリ等を釣獲し、合計15kgを出荷しました。10月にも竹魚礁の釣獲魚の活魚出荷試験を実施する予定です。



釣獲したカワハギ

- 9月26日、大磯二宮漁協所属の（有）二宮漁場の定置網漁業者が、相模原市児童養護施設で「相模湾の地魚と漁業」について説明しました。参加した小学生は、相模湾で獲れる魚、最も高い魚と安い魚、漁業者の仕事について関心が高く、様々な質問があったそうです。
- 9月26、27日、神奈川県漁業士会は県と共催で平成29年度関東・東海ブロック漁業士研修会を開催しました。今年は神奈川県が当番県となっており、本研修会には千葉県、静岡県、愛知県、三重県、神奈川県の漁業士及び関係者85名が参加しました。1日目はホテルメルパルク横浜で研修会を行い、各県の活動報告や水産庁防災漁村課から「浜プランの取組みにおける優良事例について」の講演などが行われました。その後、中華街で意見交換会が催され、普段はなかなか交流のできない他県の漁業士と活発な意見交換を行いました。2日目は、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）を訪れ、調査概要説明を受けた後、海底広域研究船「かいめい」や有人潜水調査船「しんかい6500」などを見学しました。



研修会の様子



海底広域研究船「かいめい」で記念撮影

○ 大磯二宮漁協所属（有）二宮漁場の定置網漁業者は、「二宮の金アジ」のPRに取り組んでいます。「二宮の金アジ」のこだわり等を記載したPRパンフレットやポップを、同漁場のFacebookに掲載している他、仲買い等を通じて「二宮の金アジ」を提供する料理店店頭でも掲示PRし、料理店では金アジメニューの注文も増えているそうです。今後、「二宮の金アジ」取扱店の情報についてもFacebook等で情報発信し、更なる消費拡大に繋がるよう取り組んで行くそうです。

「二宮の金アジ」のパンフレット及びポップ